

平成26年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月7日

上場取引所 東

上場会社名 シグマ光機株式会社

コード番号 7713 URL <http://www.sigma-koki.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 リョウジ

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 菊池 健夫

TEL 03-5638-8221

四半期報告書提出予定日 平成26年4月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第3四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第3四半期	5,061	8.9	310	78.5	397	71.8	218	53.5
25年5月期第3四半期	4,649	△13.7	174	△60.9	231	△56.1	142	△45.0

(注) 包括利益 26年5月期第3四半期 422百万円 (98.1%) 25年5月期第3四半期 213百万円 (1.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第3四半期	29.00	—
25年5月期第3四半期	18.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第3四半期	13,508	11,107	81.9	1,469.34
25年5月期	12,873	10,910	84.5	1,443.82

(参考) 自己資本 26年5月期第3四半期 11,067百万円 25年5月期 10,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年5月期	—	15.00	—		
26年5月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,130	15.2	380	113.4	510	81.8	275	104.2	36.51

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1 社 （社名） OptoSigma Europe S.A.S. 、 除外 — 社 （社名）
（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
 - ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年5月期3Q	7,811,728 株	25年5月期	7,811,728 株
② 期末自己株式数	26年5月期3Q	279,328 株	25年5月期	279,328 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年5月期3Q	7,532,400 株	25年5月期3Q	7,532,400 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。又、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. その他	9
役員の異動	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済におきましては、米国経済は輸出の拡大や個人消費の増加、堅調な設備投資等から緩やかな回復基調となり、欧州経済では依然失業率が高いものの景気の持ち直しの動きが見られる中、中国経済の経済成長率の鈍化傾向の継続や米国の金融政策の動向、一部新興国の景気停滞と通貨不安懸念等、依然として先行きの不透明感は払拭されておりません。わが国経済におきましては、積極的な金融政策、財政政策による円安・株高基調が継続し、輸出の持ち直しや個人消費の拡大等、景気は徐々に回復基調を辿りつつありますが、実体経済の本格的な回復までには至りませんでした。

当社グループにおいては、大学・独立行政法人向け研究開発分野では、公共機関の会計年度末に向けて予算執行が進み、光学要素部品や光学ユニット製品の需要は堅調に推移いたしました。民間企業向け研究開発分野及び産業分野においては、携帯端末市場に関連する半導体業界やモバイル用F P D業界の設備投資に回復の兆しが見られ、需要も堅調に推移しております。又、バイオ業界や医療業界向けの光学要素部品や防衛関連業界向けの光学システム製品の需要が増加いたしました。しかしながら、国内産業の海外移転や海外競合メーカーとの競争激化等、依然として厳しい経営環境は続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、カタログ製品のブラッシュアップ、中核光学技術の高度化、対物レンズ等の高付加価値製品の販売強化、ユニット製品化による容易なシステムアップ提案、適正な品質・価格・納期による顧客満足度の向上に注力いたしました。平成26年1月には、当社グループのグローバルブランドを統一し、グローバルマーケットでの認知度向上と営業展開強化を推進しております。又、生産の効率化、購買機能の強化等による生産コストの削減や全般的な経費削減に取り組んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は50億6千1百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益3億1千万円（前年同期比78.5%増）、経常利益3億9千7百万円（前年同期比71.8%増）、四半期純利益は2億1千8百万円（前年同期比53.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①要素部品事業

当事業におきましては、大学・独立行政法人向け研究開発分野は、年度末となる3月に向けて研究開発予算の執行が進み、堅調に推移いたしました。民間向け研究開発分野及び検査・製造装置の組込み用途においては、携帯端末市場に関連する半導体・電子部品市場やモバイル用F P D市場での設備投資に回復の兆しが見られる中、手動位置決め製品は価格競争の激化により依然受注状況は弱含みが続いておりますが、レーザ加工機、検査装置への組込み用途やアライメント調整用途での自動位置決め製品及び光学素子製品は回復基調で推移いたしました。又、バイオ業界向けの自動位置決め装置及びバイオ業界、医療業界、防衛関連業界向けの光学素子製品は需要が増加しましたが、通信業界向けの光学素子製品が引き続き低調に推移しました。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は42億9千4百万円（前年同期比5.0%増）となり、営業利益は7億4百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

②システム製品事業

当事業におきましては、バイオ業界における基礎研究から商用化への流れと研究開発予算の増加により、大学・独立行政法人向け研究分野及び民間向け生物・医療・バイオ関連製品の需要が増加しております。民間向け研究開発分野については、光学ユニット製品及び光学測定装置と観察光学系システム製品の需要が横ばいで推移しておりますが、民間向け産業分野での検査・製造装置の組込み用途については、防衛関連業界向けが引き続き堅調に推移いたしました。又、携帯端末市場に関連する半導体市場向け検査装置用やモバイル用F P D市場向けレーザ加工機用の対物レンズ等のユニット製品の需要は増加傾向にあります。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は7億6千9百万円（前年同期比36.8%増）となり、営業損失は8千7百万円（前年同期は営業損失1億7千9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて12.8%増加し、68億4千5百万円となりました。これは、有価証券が3億3千2百万円、現金及び預金が2億2千2百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.1%減少し、66億6千3百万円となりました。これは、投資有価証券が4千4百万円増加し、機械装置及び運搬具が7千4百万円、建物及び構築物が4千7百万円、投資不動産が4千4百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

その結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.9%増加し、135億8百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて27.8%増加し、15億6千2百万円となりました。これは、未払法人税等が2億2百万円、支払手形及び買掛金が1億3千8百万円、賞与引当金が7千5百万円それぞれ増加し、短期借入金が8百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて13.4%増加し、8億3千8百万円となりました。これは、長期借入金が6千2百万円増加したことなどによるものです。

その結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて22.3%増加し、24億円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.8%増加し、111億7百万円となりました。

自己資本比率は、81.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年7月8日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間より、新たに設立したOptoSigma Europe S.A.S.を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,942,187	2,164,613
受取手形及び売掛金	1,813,056	2,017,746
有価証券	314,824	646,979
商品及び製品	973,469	818,878
仕掛品	160,428	216,174
原材料及び貯蔵品	687,040	736,177
繰延税金資産	92,521	166,260
その他	91,690	83,054
貸倒引当金	△5,294	△4,589
流動資産合計	6,069,924	6,845,294
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,144,545	1,096,643
機械装置及び運搬具（純額）	592,319	517,993
土地	1,325,577	1,325,577
その他（純額）	101,952	96,853
有形固定資産合計	3,164,395	3,037,068
無形固定資産		
その他	253,816	256,873
無形固定資産合計	253,816	256,873
投資その他の資産		
投資有価証券	450,674	495,120
繰延税金資産	147,750	135,324
投資不動産（純額）	2,214,998	2,170,240
その他	591,926	589,309
貸倒引当金	△20,342	△20,692
投資その他の資産合計	3,385,007	3,369,302
固定資産合計	6,803,219	6,663,243
資産合計	12,873,144	13,508,538

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	649,023	787,563
短期借入金	185,000	177,000
未払法人税等	7,406	209,888
役員賞与引当金	6,500	—
賞与引当金	1,334	76,681
受注損失引当金	15,307	7,812
その他	358,615	303,698
流動負債合計	1,223,187	1,562,645
固定負債		
長期借入金	93,000	155,000
退職給付引当金	383,874	411,479
役員退職慰労引当金	172,584	180,452
その他	89,787	91,296
固定負債合計	739,246	838,228
負債合計	1,962,434	2,400,873
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,623,347	2,623,347
資本剰余金	3,092,154	3,092,154
利益剰余金	5,412,128	5,404,602
自己株式	△204,052	△204,052
株主資本合計	10,923,577	10,916,052
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,082	49,035
為替換算調整勘定	△69,208	102,620
その他の包括利益累計額合計	△48,125	151,655
少数株主持分	35,257	39,957
純資産合計	10,910,709	11,107,664
負債純資産合計	12,873,144	13,508,538

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)
売上高	4,649,541	5,061,404
売上原価	3,090,171	3,187,291
売上総利益	1,559,369	1,874,113
販売費及び一般管理費	1,385,296	1,563,363
営業利益	174,073	310,749
営業外収益		
受取利息	3,162	3,438
受取配当金	1,465	1,648
不動産賃貸料	132,156	130,095
その他	17,369	21,292
営業外収益合計	154,154	156,474
営業外費用		
支払利息	2,622	2,648
不動産賃貸費用	80,888	64,504
その他	13,443	2,742
営業外費用合計	96,955	69,895
経常利益	231,272	397,328
特別利益		
固定資産売却益	164	2,350
補助金収入	—	12,397
特別利益合計	164	14,747
特別損失		
固定資産売却損	423	60
固定資産圧縮損	—	12,397
減損損失	3,581	—
特別損失合計	4,005	12,457
税金等調整前四半期純利益	227,431	399,618
法人税、住民税及び事業税	109,577	254,693
法人税等調整額	△23,724	△72,884
法人税等合計	85,852	181,808
少数株主損益調整前四半期純利益	141,579	217,809
少数株主損失 (△)	△723	△636
四半期純利益	142,303	218,446

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	141,579	217,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,238	27,952
為替換算調整勘定	66,721	177,164
その他の包括利益合計	71,960	205,116
四半期包括利益	213,539	422,926
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	212,167	418,227
少数株主に係る四半期包括利益	1,372	4,699

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,087,527	562,013	4,649,541	—	4,649,541
セグメント間の内部売上高 又は振替高	422	527	950	(950)	—
計	4,087,950	562,541	4,650,491	(950)	4,649,541
セグメント利益(又は損失)	670,604	(179,191)	491,413	(317,339)	174,073

(注) 1. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去△950千円、全社費用△316,389千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに帰属しない売却予定の投資不動産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては3,581千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更したため、報告セグメントの減価償却方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更による、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,293,061	768,343	5,061,404	—	5,061,404
セグメント間の内部売上高 又は振替高	971	1,076	2,047	(2,047)	—
計	4,294,032	769,419	5,063,452	(2,047)	5,061,404
セグメント利益(又は損失)	704,207	(87,714)	616,492	(305,743)	310,749

(注) 1. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去△2,047千円、全社費用△303,695千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動

①代表者の異動

該当事項はありません。

②その他の役員の異動（平成26年1月31日付）

退任取締役

取締役 社長付経営戦略担当 原口 康史 （辞任による退任）

③子会社役員の異動

該当事項はありません。